

「国語」・「数学」・「英語」の力と学習の状況

～『R5 全国学力・学習状況調査（2023.4.18 中学3年生を対象に実施）』結果から～

◆ I 「国語」・「数学」・「英語」の力について ◎…良いところ ▲…伸ばしたいところ

★国語の結果から

◎ 事象や行為、心情を表す語句の意味や、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すなどの知識や技能が定着しています。

◎ 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分について、叙述をもとに捉えながら要旨を把握することができます。

▲ 「書くこと」において、読み手の立場に立ちながら文章を整えて書くことについて課題があります。

↓

☆ 対策として、文章を書いたときに、読み手からの助言を踏まえながら、自分の文章のよい点や改善点を見つけて推敲するという活動を取り入れます。

▲ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題があります。

↓

☆ 対策として、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する活動を取り入れます。

★数学の結果から

◎ 「数と式」の領域で、数と整式の乗法の計算をすることができます。

◎ 「関数」の領域で、反比例の意味を理解することができます。

◎ 「データの活用」の領域で、四分位範囲の意味を理解することができます。

▲ 「数と式」の領域で、結論が成り立つ前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題があります。

↓

☆ 対策として、文字式を用いて説明する流れを再確認し、日頃から式の持つ数学的な意味を考える活動を取り入れます。

▲ 「関数」の領域で、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。

↓

☆ 対策として、関数の事象を理解し説明する流れを再確認し、日頃から関数の持つ数学的な意味を考える活動を取り入れます。

★英語の結果から

◎ 「聞くこと」の領域で、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができます。

◎ 「読むこと」の領域で、社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができます。

▲ 「書くこと」の領域で、文脈から適切な文の形式や時制を判断して、英文を正確に書くことに課題が見られます。

↓

☆ 対策として、理解した文法事項を活用しながら、文脈に応じた英文を書く活動を取り入れます。

▲ 「話すこと」の領域で、相手が持っている情報について質問することに課題が見られます。

↓

☆ 対策として、相手が持っている情報について質問する場面設定をした活動を取り入れます。

◆Ⅱ 学習や生活の状況について

★**生徒質問紙**（アンケート）の結果から *全体的な傾向として以下のことが挙げられます。

Ⅰ 肯定的な回答が多い項目

- ①朝食を毎日食べている
- ②毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- ③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている
- ④先生が自分のよいところを認めてくれていると思っている
- ⑤困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できていると思っている
- ⑥人の役に立つ人間になりたいと思っている
- ⑦友達関係に満足している
- ⑧人が困っているときは、進んで助けている
- ⑨自分と違う意見について考えることは楽しいと思っている
- ⑩地域や社会をよくするために何かしたいと思っている
- ⑪学校の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思っている
- ⑫道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる
- ⑬授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
- ⑭学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている
- ⑮学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている
- ⑯授業で学んだことをほかの学習で生かそうとしている
- ⑰総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
- ⑱学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている
- ⑲学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる

2 改善するとよいと思われること（主な課題）

- ①家庭学習に計画的に取り組む
- ②平日、休日ともに、授業時間以外での1日あたりの勉強時間（塾などを含む）を確保する
- ③家で読書をしたり新聞を読んだりする時間を増やす
- ④PC・タブレットなどのICT機器を勉強以外に使用する時間を減らす
- ⑤自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表ができるようにする
- ⑥住んでいる地域の行事に参加する

*「個人票」（配付済み）には、各教科の結果（個人の正答数・全国の平均正答数）と各問題の全国の正答率などが記載されています。お子様が自身の課題や弱点を克服し、学力向上を目指して努力していくよう、ご支援をお願いします。

◆Ⅲ 今後の対策について

Ⅰ 学校での取組

- ICT機器（特にタブレット端末）を効果的に活用した分かりやすい授業を行い、基礎的・基本的な知識の定着を図ります。
- 主体的に学習に取り組めるよう、授業において自己選択・自己決定をする場面を設定します。
- 「話し合い、伝え合う」時間を設定し、より深い学びになるような授業づくりを行います。
- 学習したことを活用しながら課題を解決する活動を設定します。

- 自分の考えを文章で書いたり、発表したりする活動を行います。
- 授業や学校行事で、「楽しい」「できた」と感じることができ活動をよく取り入れ、自己肯定感を高めていきます。
- タブレット端末の活用をすすめると共に、インターネットや SNS 等の正しい使い方や情報モラルに関する指導をしていきます。

2 ご家庭にお願いしたいこと

○規則正しい生活習慣の定着

- ・テレビやゲーム、インターネット、スマホ等の使用について、家庭でルールづくりを行ってください。
- ・寝る時刻、起きる時刻、夕食を食べる時刻を毎日できるだけ同じにして生活するようにしてください。

○家庭学習の定着

- ・予習や復習の時間を自分で決め、家庭での学習時間を確保できるようにしてください。
- ・本や新聞等のニュースにふれる機会を設けて、資料や文章を読み取る力、話を組み立てる力をつけられるようにしてください。また、地域や社会の動きを話題にして話す機会を設けてください。

○家庭での体験活動への参画

- ・地域住民の一人として、地域の行事に積極的に参加するようにしてください。